



井戸ばた会議

8月号の★募集テーマから

ターミナルケア加算 算定しましたか？



末期がんの人の終末期を支援するターミナルケアマネジメント加算の算定がスタートして5カ月、「算定した」という声がちらほら聞こえてきました。共通して聞こえてきたのが、最後の1カ月をケアマネジャーとしてどのようにかかわるのかという悩み。頑張れば取れる加算ではないという点にも、ケアマネジャーとしての葛藤が見え隠れしました。 (編集部)

担当者会議の省略 助かっています

神奈川県 上原裕子さん 50代

医師会立の居宅の管理者です。担当する利用者のうち、約4割が末期がんです。地域に大学病院があることなども、影響していると思います。

看取りも多く、4月から取得しています。7月までに、3名の利用者

が対象になりました。

末期がんの方は、状態が急速に変化します。臨機応変にサービスを提供していく上で、サービス担当者会議を省略できることは大変助かっています。

会議を開かなくても、不安はありません。私たちの事業所は訪問看護ステーション併設です。医師や看護師の訪問に同行し、本人の状態を常

に把握。報告、連絡、相談もその場で行っています。また、地域には在宅療養支援診療所がいくつかあり、看取りに積極的に取り組んでいる先生もいて、連携は取りやすいです。

その一方で、加算を取る際、家族へ説明して合意を得ることは、とても難しいと感じています。回復を信じている家族もいます。家族が納得するまで待つうちに、容体が急変。

亡くなった利用者もいます。家族には加算について、「本人がより良い状態で過ごせるよう、医師や看護師と私たちがスムーズに連携するため、必要なものです」と説明しています。

現在、事業所では特定事業所加算IIを取得しています。来年には、できれば加算IVを取得したいと考えています。

条件が合えば取りたい 記録業務は増えそう

宮崎県 岩田宗一郎 40歳

これまでに、末期がんの利用者を担当することが何度かありました。入院中に「自宅に帰りたい」と要望を受け、MSWや退院支援看護師と退院後の生活をどう支えたらいいか、家族も交えて何度もカンファレンスを開きました。医師の助言も得て、サービスを調整して退院。MSWから、在宅医や訪問看護師を紹介してもらい、看取りまで支援できました。がんに限らず、普段から入院中の利用者を定期的に訪ね、MSWや看護師とまめに情報交換しているからできたことだと思います。

事業所では、24時間の連絡体制も整えています。今回の加算も、条件のある人がいれば算定したいと考えています。サービス担当者会議を

省略するため、支援経過記録の作成に時間を割かれそうですが。

厳しい算定要件は ケアマネへの期待感

東京都 指田真理子さん

末期がんの方は何名か担当することがありますが、加算はまだ算定できていません。

亡くなる14日以内に2日以上訪問するという算定要件は、正直、厳しいと思います。ご家族がいる方であれば、最期の時間を過ごしているところに、頻回に訪問するのはどうかという課題もあります。

要件は厳しいですが、必要な加算だと感じています。地域で、ターミナルの方の支援について、医療職との連携がうまくいかず、ケアマネジャーがかやの外になるという話も聞きます。例えば、看護師と情報交換しようにも、ケアマネジャーに十分な医療知識がなく、看護師主導でケアが進められるなど。

今回、この加算ができたのは、「それではだめです」という国のメッセージだと思います。本人の生活に伴走し、ニーズを拾い、それを満たすためにサービスを調整する。それがケアマネの仕事である以上、医療職の視点を理解し、ケアマネの立場か

らも対等に意見しながら、支援を進めていくことが求められていると思います。

利用者ありき 取りに行く加算ではない

兵庫県 神田信治 44歳

4月に1名取得しましたが、以降は取れていません。地域に緩和ケア病棟のある病院があり、末期がんの方の場合、状態が悪化すると、そこへ入院する人が多いです。家族が希望することもあります。

私の事業所は訪問看護ステーションに併設し、在宅医や看護師と連携する機会が多いです。同行訪問もするので、ターミナルでも、在宅でできることがたくさんあると分かっています。でも、家と病院、最期に過ごす場所にどちらを選ぶかは、本人や家族の選択です。

ターミナルケアマネジメント加算もしかり。家を選んだ人が、最期まで安心して過ごせるようにするためのものですから、本人の様子や家族の介護力を見て、必要だと判断したら、同意を得て取ろうと考えています。特定加算IVの算定要件にもなっていますが、退院・退所加算のように、頑張れば取れる加算ではないと思います。

投稿用紙のご利用 (p.43、もしくはホームページから投稿) で、掲載された方には、**1,000円の図書カード**を差し上げます。

